

平成 29 年度の進捗状況について

資料 1

1 地域包括ケアシステム構築へ向けた施策の推進

主 な 改 正 点	事 業 名	本町の事業開始時期
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携推進事業	平成 28 年 4 月 1 日
生活支援サービスの充実・強化	生活支援体制整備事業	平成 28 年 4 月 1 日
認知症施策の推進	認知症総合支援事業	平成 29 年 4 月 1 日

在宅医療・介護連携推進事業

1 目的

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するための支援を行う。

2 事業構成及び進捗状況（平成 30 年 1 月末時点）

	項 目	内 容	実 績
1	地域の医療・介護資源の把握	平成 28 年 8 月より豊山レインボーネット（地域資源マップ）をインターネット上で公開	登録数 医療機関 12 施設 介護施設 39 施設 アクセス数 34,347 (清須市、北名古屋含む)
2	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	豊山町地域包括ケアシステム推進協議会の開催 地域包括ケアシステム構築の取組のため豊明市視察	1 回 9 人 H30 年 2 月 16 日 清須市・北名古屋 市・豊山町職員
3	切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	尾張中部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会及びワーキング会議への出席	協議会 1 回 ワーキング会議 4 回
4	在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携		
5	医療・介護関係者の情報共有の支援	平成 28 年 8 月より豊山レインボーネット（電子@連絡帳）をインターネット上で公開	電子連絡帳 患者数 4 件 支援関係者数 12 施設・13 人

6	在宅医療・介護連携に関する相談支援	相談業務の実施	随時対応
		退院の際の地域の医療機関と介護関係者の連携の調整	
		西名古屋医師会在宅医療サポートセンターとの連携	
7	在宅医療・介護関係者の研修	尾張中部医療圏在宅医療・介護連携研修会（実施主体：医療圏在宅医療・介護連携推進協議会） テーマ「末期がん患者～在宅での看取り～」	116 名
		豊山町介護支援専門員研修会 1 回目 「高齢者の権利擁護支援～財産管理・身元保証制度について～」	17 人
		2 回目 「薬剤師との連携について」 研修会 ・在宅療養者への薬剤師の役割について ・訪問薬剤管理指導の利用スケールについて 講師：スマイル調剤薬局 星野一 薬剤師 交流会（薬剤師と介護支援専門員の連携について）	13 人
		豊山町ケアマネ会設立支援	H30 年 1 月 16 日 設立 ・登録 4 事業所 ・登録者 17 人
8	地域住民への普及啓発	尾張中部地域ケアサミット 第 1 部 講演会 「地域包括ケアの今とこれから」 講師 名古屋大学総長補佐 水野正明先生 第 2 部 パネルディスカッション 「安心して過ごせる地域社会に向けて」 パネリスト 水野正明先生、清須市長、北名古屋市長、 豊山町長	246 人 (内訳) 住民 75 人 医師 6 人 歯科医師 10 人 薬剤師 8 人 専門職 70 人 議会議員 17 人 行政関係 60 人
		在宅医療推進講演会 「在宅医療を知ろう ～住み慣れた自宅で自分らしく生きる～」 講師 医療法人済衆館 済衆館病院 訪問診療 河田陵 医師	29 人

3 豊山レインボーネット（電子@連絡帳、地域資源マップ）について

（1）利用実績

ア 電子@連絡帳

（ア）利用者

（平成30年1月末時点）

	対象者	運用開始	診断名	支援機関	所在地
1	80代	H29.1.12	脳卒中 心疾患	医療機関 居宅介護支援事業所 訪問介護	町内 町内 町内
2	70代	H29.5.18	心疾患 腎疾患等	医療機関 居宅介護支援事業所 訪問看護	町内 町内 町内
3	70代	H29.8.17～9.8 （終了）	肝疾患	医療機関 居宅介護支援事業所 訪問看護 調剤薬局	町外 町外 町外 町外
4	70代	H29.8.29	脳梗塞	医療機関 居宅介護支援事業所 訪問リハビリ 通所リハビリ 福祉用具貸与	町内 町内 町外 町外 町外

（2）今後の課題

尾張中部医療圏単位における運用ルールの見直し

検討事項	検討内容	進捗状況
利用できる事業所	電子連絡帳の利用できる医療機関について、尾張中部医療圏以外の医療機関の参加も可能にしてはどうか。	ワーキング会議の医師より、医師会の理事会で左記の内容を諮る予定。
かかりつけ医の役割	支援チームのリーダーとなり患者への説明や同意書の保管をかかりつけ医のみに担当して頂くのは業務負担があるため、他の職種も可能にしてはどうか。 チームメンバーに医師が参加していない場合も患者登録ができ情報共有をできるようにしてはどうか。	

生活支援体制整備事業

1 目的

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者の増加に伴い、これらの高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるために必要な生活支援サービスについて基盤整備を推進する。

2 事業構成及び進捗状況（平成30年1月末時点）

（1）協議体の開催

日時	検討内容
6月28日	豊山町の高齢者が必要とする生活支援の課題について
8月29日	地域住民同士の支え合い活動について
10月2日	有償ボランティアについて 高齢者の生活支援サービスに関する情報提供について

（2）コーディネーター活動

高齢者いきいき安心ガイドブック作成

対象者	作成物
65歳以上の方向け	いきいき安心生活ガイド総集編（資料2） いきいき活動ガイド 生活支援サービスのご紹介
介護保険サービス利用 対象者向け	いきいき安心生活ガイド総集編（資料3） 生活支援サービスのご紹介

配布場所：役場、各福祉センター・供用施設、町内の医療機関等

認知症総合支援事業

1 認知症初期集中支援チームの設置

(1) 目的

認知症やその疑いがある方及び家族を訪問し、状況に合わせた病院受診や介護保険サービスの利用に繋げる。また、家族の負担軽減等の支援を行う。

(2) 進捗状況

平成29年5月より委託開始。チーム員内訳（サポート医 1名、作業療法士1名、看護師1名、介護福祉士1名）。

(3) 利用実績

	対象者	病院受診	介護サービス利用
1	80代	有	無
2	70代	有	無

2 認知症理解促進講演会

日時 平成30年2月24日（土）開催予定

テーマ 認知症ケアと地域共生のまちづくり

内容 第1部 基調講演 「今こそ認知症を正しく理解しよう」

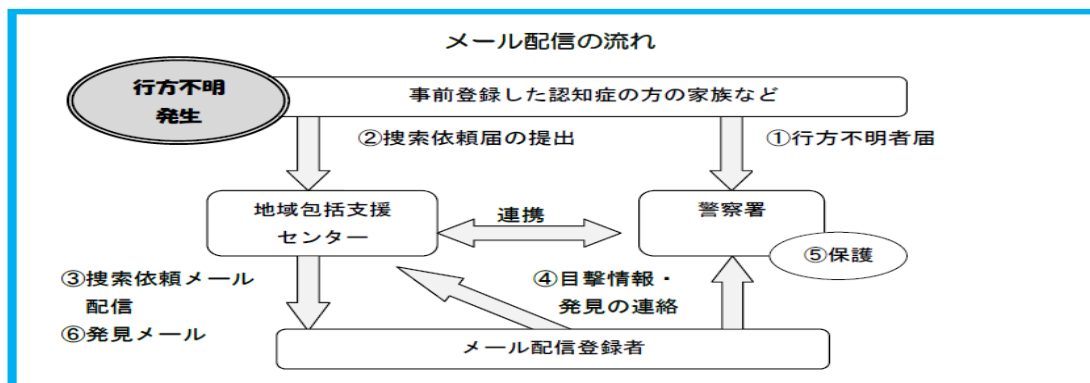
第2部 シンポジウム「認知症の方への望ましいケアと地域共生のまちづくりについて」

3 おかえりネット開始

(1) 目的

認知症の方が徘徊により行方不明となった場合に、家族等からの依頼により、その方の身体的特徴や服装等の情報をおかえり支援サポーター（メール配信登録者）に対してメール配信し、情報提供等の協力を依頼する。より多くの人の協力で行方不明者を早期に発見し安全を確保するためのネットワークを構築する。

(2) 事業内容



4 認知症ケアパス更新

平成27年度に初校作成。新規事業の追加や内容を見直し、平成30年2月に内容を更新。

配布場所：役場、町内の医療機関